

ゆうあい

あなたがいて、わたし、がある。

JUNE 2024

6

vol.573

特集
新任職員紹介



ゆうあい人形の旅 函館市見晴公園



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
6月号 令和6年6月1日発行
発行日: 隔数月1日 / 発行所: 大場公幸 / 発行所: 社会福祉法人侑愛会 (北海道北斗市道分7丁目8番9号)

<https://www.yuai.jp/>



施設長に就任して

園長 石村 正徳



安心・安楽で活気に満ちた生活を届けたい

この度、令和6年12月1日付で俊愛会の施設長に就任いたしました。平成42年に南愛菜会に入職し、俊愛会に勤めて以来本年度5年目となります。俊愛会は俊愛会の中で最も高齢期の方達が多く入所されている施設で、現在住居80名で平均年齢は約72歳となります。俊愛荘に勤め始めたときは、ゆとり班というリビリのグループに所属、当時入所されていた利用者皆様が毎日元気に体操、遊びリレーションや制作活動、カラオケや絵画など、結束しながらか様々な活動を行っており、また、当時はゲートボールやバレーボールなど、屋外での活動も多く取り入れられており、入所されている利用者の皆様、関わる中で、若いころから自ら心掛けていたことは、生活の中にも采みの要素を取り入れるという点です。高齢期の暮らさる中で、数般は行事の開催など自粛する事も有りましたが、徐々に再開していきたくて考えています。一方で専門的な知識も裏付けされた支援も展開していく必要があります。現在南愛荘では三大介護の専門チームを組織していますが、食事ケア検討チーム、排泄ケア検討チーム、入浴ケア検討チームのそれぞれで中心となり、支援の組み立てや、新しい情報獲得、学習会の開催など、それぞれが精力的に取り組んでおります。俊愛荘で暮らす皆様が今後安心・安楽に生活に満ちた生活を送る事ができるように、他のスタッフとに耳を傾け、これから初心を忘れず、常のスタッフと協力し励みたいと思います。

園長 坂田 貴宏



チームワークを大切にするつくしんぼ学級に

令和6年4月に入り、つくしんぼ学級の園長に就任しました。友愛会に入職して今年で26年目となり、くしんぼ学級の業務は25年目となります。その間に私は3名の園長の下で、自分のやりたいうことを自由にできる環境で業務をさせていただきました。私を信愛会へと導いて下さり、就職後も助まってきた村川哲郎園長、新任の時からずっと気に掛けて声を掛け続けて下さった大塚靖子園長（前常務理事）、何もわからなかった新任の時から今も継続していろいろなことを教えて下さっている金沢京子園長、それぞれの園長の業務にあたる姿から、自分のことは後回しにして、おさんのために、ご家族のために、職員のために汗をかきの園長の役割担いということを学びました。今、私を受け継いだつくしんぼ学級のトーンは、とても重く、私を痛感する毎日を通していました。職のために園長としてリードしていかねばならないという4月がスタートしましたが不慣れなことが多く、決断に時間がかかり十分な指示が出せないことも多く、実際には私自身が職員の皆さんに支えてもらい、励まされて、ると感じています。おさんたちやご家族の皆さんには、これまで同様、変わらずに接していただき、温かい思いも掛けていただきますように救われる思いです。たくさんの人に支えられているということをつとめをつとめ取り組んでいきたいと思います。職員間のコミュニケーションが取れる職場を作り、チームワークと連携を大事にながら、おさんさんとご家族が安心して通えるつくしんぼ学級を目指したいと思います。

所長 宮島 啓太



暮らしの選択肢の一つであるために

この場合令和6年4月17日でサポートはまなすの所長に就任いたしました。平成17年でサポートはまなすの前身であるサポートみずきに入職し、それ以降グループポテで暮らす利用者の方々の支援に携わらせていただいております。振り返ってみると、学生時代からグループホームやアパートで暮らす方々との出会いの中で、「こういつた暮らしがあるのか」、まず地域生活に興味を持ちました。そして、その頃偶然手にした書籍の中でゆうあいの地域生活の先駆けである通所寮はまなす寮の実践を知る機会があったことも、その後に福祉の道を進んでいくと決心する大きな要因になつていこうと思います。縁あって佑愛会にお話をいただいた今でも20年を越えてまだ、叱咤激励にいらだいた先輩や同僚、そして利用者の皆さんとこのご家族に支えられ、今の私があると思っています。サポートはまなすは、平成24年にサポートみずきと通所寮はまなす寮が組織統合し生まれた事業所です。函館市桔梗、北斗市七重浜、追分を中心に、現在22ヶ所のグループホームを運営しています。入職当初、30代、40代でまなすの利用者の方も同じように歳を重ね、私たちが援者が暮らしの中心を求められることも変化してきました。居住環境や職員体制など取り組むべき課題は山積していますが、利用者さんおひとりのニーズに応えていくために、そしてグループホームが利用者の方々の暮らしの選択肢の一つであるために、職員一同力を尽していきなすと思っています。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp